

日本航空石川高ラグビー部

恵那市とバローが支援

中部大施設で受け入れ

恵那市は2日、能登半島地震で大きな被害を受けた石川県輪島市の日本航空石川高ラグビー部を、中部大研修センター(恵那市武並町)で4日から受け入れるため、バローホールディングス(HD)と連携して支援すると発表した。

中部大春日丘高と日本航空石川高のラグビー部は長年交流があり、大学側が受け入れを決めた。大学と包括連携協定を結んでいる恵那市に支援要請があった。日本航空石川高は、全国高校ラグビー大会に19大会連続で出場している強豪

校。本年度の第103回大会では、1回戦で岐阜県勢の関商工に33-21で勝利した。

10日から長野県飯田市で開催される第26回北信越高校新人ラグビー大会に出場するため、部員35人と教員4人が、試合会場に近く宿泊施設を併設する研修セン

ターに18日までの2週間滞在する。

恵那市と包括連携協定を結んでいるバローHDは、水やお茶などのペットボトル飲料1800本を提供。市は、選手らの昼食に郷土食である五平餅などを提供する予定としている。

(服部潤)